

# 競技注意事項 (NDソフトスタジアム山形, 一般・高校の部)

1 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟規則及び大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 ウォームアップ場（練習会場）について  
サブグラウンド（補助競技場）を使用すること。  
円盤投の練習は、運動広場を使用すること。

- ① フィールド内芝地の練習について
  - ・円盤投、やり投の競技の時間帯は、練習を禁止する。
  - ・円盤投の競技の時間帯以外に練習ができるのは、やり投のみとする。
  - ・ドリルやストレッチで使用しないこと。
- ② トラックの練習について
  - ・円盤投の競技の時間帯は、サークル周辺の使用を制限する。

3 招集について

- (1) 招集所は、バックスタンド北の裏側（掲揚台の北側）に設置する。
- (2) 招集開始時刻と招集完了時刻は、次のとおりとする。  
招集完了時間になっても点呼を受けていない場合は、欠場扱いとして処理する。

	招集開始時刻 (点呼開始時刻)	招集完了時刻 (移動開始時刻)	現地集合時刻
トラック競技	競技開始時刻の 25 分前	競技開始時刻の 15 分前	競技開始時刻の 10 分前
フィールド競技	競技開始時刻の 40 分前	競技開始時刻の 30 分前	競技開始時刻の 25 分前

- (3) リレー競技に出場する場合、「リレーオーダー用紙」を招集完了時刻の1時間前までに、招集所（競技者係）に提出する。なお、一度提出したリレーオーダー用紙は1時間前に申告したものであっても差し替えは認められない。（競技規則第170条11）

4 ナンバーカードについて

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のナンバーカード（ビブス）をつけなければならない。跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。  
また、このほかに、種目によっては腰ナンバー標識と別ナンバーカードを配布する。  
腰ナンバー標識と別ナンバーカードは招集所で配布し、フィニッシュ地点付近で回収する。
- (2) 腰ナンバー標識について
  - ① トラック競技に出場する競技者は、配布された腰ナンバー標識をショーツまたは下半身の横（左右）につける。
  - ② 4×100mリレーでは、第4走者のみ腰ナンバー標識をつける。
  - ③ 4×400mリレーでは、第4走者のほか、第2走者と第3走者も腰ナンバー標識をつける。

5 競技場内への入退場について

- (1) 招集所での点呼終了後、招集完了時刻に、競技役員の指示により現地に移動する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従い退場する。

## 6 競技について

### (1) トラック競技について

- ① レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ② 短距離種目では、競技者の安全ためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられレーン(曲走路)を走る。
- ③ スタート時のイエローカード(競技規則第162条5)については、その種目限りとする。
- ④ 競技規則第162条8により、不正スタートをした者は1回で失格とする。
- ⑤ リレーで使用するマーカーはチームで準備し、レース終了後、取り除くこと。
- ⑥ 4×100mリレーの全走者間のテイク・オーバー・ゾーンは30mとし、ゾーンの入口から20mが基準線となる。[競技規則第170条3, 2018年度ルール改正]

### (2) フィールド競技について

- ① 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)にマーカーを2個まで使用することができる。サークルから行う投てき競技ではマーカーを1個だけ、サークルの直後あるいはサークルに接して使用することができる。
- ② フィールド競技の試技時間は、次のとおりである。 [競技規則第180条17, 2019年度ルール改正]

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技	2分	3分	2分

### ③ 走高跳におけるバーの上げ方

一般・高校 男子	1m50(練習)	1m55-1m60-1m65-1m70-1m75-1m80	以後3cmずつ
一般・高校 女子	1m20(練習)	1m25-1m30-1m35-1m40-1m45-1m50	以後3cmずつ

ただし、天候その他の関係で変更することがある。

同成績のバーの上げ下げは2cmとする。

### ④ 投てき競技の競技会場は、次のとおりとする。

NDソフトスタジアム山形(主競技場)      砲丸投  
サブグラウンド(補助競技場)      円盤投 やり投

## 7 競技用具について

競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。

## 8 競技用靴について

スパイク(スパイクピン)の長さは、9mmを超えてはならない。ただし、走高跳およびやり投の場合は、12mmを超えてはならない。いずれの場合も、スパイクの数は、11本以内とする。

## 9 表彰について

4会場の記録を本部で集計し、部門別、種目別第3位まで表彰する。賞状は後日送付する。